

形態実習Ⅳ（人体のマクロ構造）

Practice of Human Morphology IV (Practical Anatomy)

実習責任者：解剖学 特任教授 平田 和明

1. 実習概要・学習内容

第1・2学年の各ユニット・形態実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲで学んだ人体の正常構造の機能の知識をもとに、形態実習Ⅳ・人体のマクロ構造（人体解剖学実習）により人体の形態と機能の有機的な関連性を理解するとともに、形態学的思考方法および生物学的観察眼を習得し、形態形成の原則を考究する。同時に、ご遺体を前に生命の尊厳・医の倫理について再考する。

2. 到達目標

- 1) 人体解剖学実習により人体構造を自分自身の目で見、手で触れて観察し、説明できる。
- 2) 人体構造の各系統を把握し、それぞれの器官およびその重要部分の解剖学用語を英語で正確に述べることができる。
- 3) 器官の有機的関連性を把握し、さらに画像解剖学と対比し説明できる。
- 4) 遺体を前に生命の尊厳・医の倫理について改めて考える。
- 5) 自らの非力を悟り、医学生としての目的意識・問題意識を自覚する。

3. 学習上の注意点

1)

第2学年前期までの医学学習で習得した人体の正常な構造・機能の知識をもとに、実際にご遺体を用いた人体解剖学実習により、器官・構造相互の有機的関連、臨床的事項などを含め、人体構造の理解を深める。

解剖学実習室においては「最良・最上の教師はご遺体」である。

2)

遺体解剖学実習では人体構造について自分自身の目で見、手で触れ、学び確かめ、形態学的思考法・観察眼を養い、自学自習の精神を身に付ける。実習に際しては、ご遺体に対して心からの礼意と尊敬の念を持って臨むことが肝要である。我々が解剖させて戴けるのは、故人・ご遺族ならびに関係各位のご理解とご協力の賜であることを銘記すべきである。解剖学実習は医学教育のハイライトと言われ、将来医師として人命を預かるものが人体に接する最初の機会であり、ご遺体は初めての患者である。単

に形態学的知識だけでなくご遺体を前に自らの非力を悟り、生命の尊厳や医の倫理について考え、医学生としての目標意識・問題意識を自覚することが重要である。

4. 教科書・参考書

教科書：『解剖実習の手びき』（南山堂）

参考書：『グレイ解剖学』（エルゼビア・ジャパン）

（書評）詳しく優れた局所解剖学書（胸部、腹部などの部位ごとの記述）である。高学年の臨床解剖学等の学習にも適している。

『岡嶋解剖学』（杏林書院）

（書評）伝統的な詳しく記述された系統解剖学書であり、人体解剖学を学ぶうえで必須の書籍である。索引が充実しており調べものにも向く。

『臨床のための解剖学』（メディカル・サイエンス・インターナショナル）

（書評）グレイ解剖学と同様に詳しく優れた局所解剖学書である。特に臨床関連事項の記載が豊富であり、高学年の臨床解剖学の学習に適している。

『プロメテウス解剖学アトラス』（医学書院）

（書評）詳細な記載と美しい解剖図が素晴らしい本格的アトラス。

『ネッター解剖学図譜』（丸善）

（書評）図譜集としては定番である。解説はないので、これだけでは勉強できない。

『解剖学講義』（南山堂）

（書評）バランスの良い良書である。図が適度にあり、説明文の量も適当である。

『図解 解剖学辞典』（医学書院）

（書評）コンパクトであるが、ほぼ解剖学の全用語の簡潔な説明と図が記載されている良書。

5. 成績評価

| 評価項目 | 実施回数 | 評価割合 | 備考 |
|---------|------|-------|-----------------|
| 定期試験 | 1 | 70（％） | 後期定期試験期間中に実施する。 |
| 口頭試問 | 5 | 10（％） | 実習期間中に実施する |
| レポート | 5 | 5（％） | 口頭試問後に提出する。 |
| ポートフォリオ | — | 5（％） | 実習期間中に提出する。 |
| 実習態度 | — | 10（％） | 実習中に評価する。 |

6. オフィスアワー

| 所属 | 役職 | 氏名 | 時間 | 場所 | 連絡先 |
|---------------|------|--------|----------------|-------------|------------------|
| 解剖学 (人体構造) | 特任教授 | 平田 和明 | 平日 12:30~13:30 | 医学部 5階解剖学講座 | 3517 (内) 講座秘書 |
| 同上 | 准教授 | 長岡 朋人 | 同上 | 同上 | nagaoka |
| 同上 | 講師 | 星野 敬吾 | 同上 | 同上 | hoshino |
| 同上 | 講師 | 水嶋 崇一郎 | 同上 | 同上 | s_mizu |
| 同上 | 助教 | 清家 大樹 | 同上 | 同上 | hseike |

メールアドレスは @marianna-u.ac.jp が省略